



東湊学校だより

TEL: 52-3149 FAX: 52-1200
E-mail: minatosho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

令和5年度
3月号

めざす東湊っ子の姿 「かしこく」「やさしく」「たくましく」



ありがとう
ございます！

全国各地の学校や個人の方から様々な支援をいただきました

室内ゲームやおもちゃで遊んでいます。



◆◆◆心温まる「6年生を送る会」◆◆◆

2月29日（木）の2・3限目に6年生を送る会を行いました。

- 1年生・・・オリジナルダンス「たんじょう月のなかま」
- 2年生・・・縄跳びダンス、肩たたき、英語であいさつの「1, 2, 3パワー」
- 3年生・・・クイズとダンスで贈る「6年生思い出クイズ」
- 4年生・・・歌と合奏「6年生ありがとう！ハーモニーのプレゼント」
- 5年生・・・アンケートをもとにしたビンゴゲーム「思い出ビンゴ」
- 教職員・・・がんばって練習した歌「栄光の架橋」
- 6年生・・・学校を題材にした劇「みんなへ届け！」

これらの出し物を、それぞれの学年が6年生に楽しんでもらおうと限られた時間の中で練習し、披露しました。6年生はそれを受けて、それぞれの学年の特徴を捉えた劇をして在校生を楽しませてくれました。今年の送る会は、相手の思いを受け止めて、楽しく反応したり振り切って楽しんだり温かい交流ができた会でした。中心となって企画や準備、運営をしてくれた5年生にとっても学校をリードする貴重な体験となったようです。

この会が小学校の思い出の一つとして、6年生の心に残ってくれたら嬉しいです。

応援メッセージがたくさん届きました。



◆◆◆「元気が出るキャラクター」決定！◆◆◆

2月に「元気が出るキャラクター」の募集をしたところ、22枚の絵の応募がありました。そして全校児童、教職員のシール投票の結果、2年生の高橋りんなさんの「みすず」が選ばれました。

お昼の校内放送でインタビューしたところ、「みすずという名前は、水のようにせいをイメージしてつけました。」
「絵のおすすめポイントは、ポーズをしてジャンプしているところです。」と教えてくれました。りんなさん、素敵な絵をありがとうございます！

そして応募してくれたほかのみなさんもありがとうございました。どのキャラクターもそれぞれに特徴があり、描いた人の意図が伝わってくるよい作品でした。



Let's call.
～親子のなんでも電話相談室
オアシスライン

対象：小中学生及び保護者（匿名の電話で構いません。秘密は守ります）



電話 (0767)52-0783
受付 13:00～16:00
(月曜～金曜)

<保護者アンケートの結果>

	評価の観点	A	B	C	D	E	計	(A+B)/計	
1	学校は、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている。	56	66	2	0	1	125	98%	
2	学校は、読み書き計算など基礎基本の定着に取り組んでいる。	54	67	0	0	5	126	96%	
3	子どもたちは、学習に意欲的に取り組んでいる。	35	82	4	0	5	126	93%	
4	学校は学力の向上に努めている。	48	73	1	0	4	126	96%	
5	学校は、家庭で勉強する習慣が身につくよう指導している。	35	80	1	0	9	125	92%	
6	学校は、不審者対応や交通安全指導など安全管理への対応をとっている。	54	68	1	1	2	126	97%	↑
7	学校は子どもの体力向上に取り組んでいる。	45	76	2	0	3	126	96%	
8	学校は、いじめなどの問題に適切に指導、対応している。	52	66	1	0	7	126	94%	
9	学校は、思いやりや豊かな心を育む活動や教育を行っている。	49	72	0	0	5	126	96%	↑
10	学校は、本をたくさん読むように読書指導を行っている。	59	64	0	0	3	126	98%	
11	学校は子どもたちが、正しい姿勢しっかりした学習態度で授業を受けるよう指導をしている。	53	70	0	0	3	126	98%	↑
12	学校は、家庭と連携し、規則正しい生活をするように取り組んでいる。	52	72	0	0	2	126	98%	↑
13	学校は、あいさつのできる子になるように取り組んでいる。	56	64	2	0	4	126	95%	
14	学校は、食育や歯磨きなど健康について具体的な指導を行っている。(新型コロナ対策を含む)	46	74	0	0	6	126	95%	
15	学校は、地域の自然、人材、文化などを取り入れた活動を行っている。	51	70	1	0	4	126	96%	
16	学校と保護者・地域の協力・連携が行われている。	50	72	1	0	3	126	97%	
①	保護者として、子どもが規則正しい生活ができるように配慮している。	33	73	19	0	1	126	84%	↓
②	保護者として、子どもと話をしたり、一緒に過ごしたりする時間をなるべく多く取っている。	37	81	7	0	1	126	94%	↑
③	保護者として、PTA活動、授業参観日にできるだけ出席するようにしている。	64	51	8	1	2	126	91%	
④	家庭でも、家族同士であいさつをしっかりしている。	66	57	3	0	0	126	98%	↑

*前期に比べて3ポイント以上上回っている項目は↑、3ポイント以上下回っている項目は↓で示しています。
↑が多いのですが、A評価が下がっている傾向がありますので、取組の周知及び改善が必要といえます。

	保護者の方のご意見やご感想	回答	
地震に関して	1	今回の地震で不安に思ったことは、大津波が来たら子どもたちはどこに避難するのか、また逃げ切れるのが心配です。	市の津波ハザードマップを活用して危機管理マニュアルを作成し、指定避難場所として14.6mの高さがある学校の3階に逃げることにしています。津波対応の避難訓練も毎年行っています。危機意識を強く持ち、対応していきます。
	2	地震後、学校が再開しても通学路の危険なところの注意など学校からありませんでした。	地震後、教員で通学路点検に回りました。それをもとに学校再開後3日間は児童と一緒に通学路を歩いて危険箇所を確認し、注意を促しながら集団下校しました。
	3	地震後の学校再開時に震度3の揺れがあったのに連絡がありませんでした。	ご心配をお掛けしました。今後、七尾市に震度3以上の地震があった際には、メールでお知らせします。
	4	学校再開までの進捗状況が保護者に知らされず不安や不満を感じました。	連絡が不足しておりすみませんでした。トイレが使用できることが学校再開の条件の一つでしたが、避難所になっていた学校となっていない学校では仮設トイレの設置の早さに違いがありました。本校は避難所ではなかったため仮設トイレがなかなか設置されず再開が遅れました。
	5	地震後オンライン授業の対応を素早くいただき、本当に嬉しく思いました。	どんな状況でも学びを止めないということの指示を受け、行なってきました。おうちの方々のご協力のおかげで、比較的スムーズにできました。
	6	被災後からオンライン授業をしてくださったり、普段からも学校全体で一人一人の子どもたちを見てくださったりしていることが伝わります。いろいろな先生に会いたいと話していました。ありがとうございます。	これからも担任はもちろん、学校全体で子どもたちの成長に関わっていききたいと思います。
	7	集団下校、登下校での地域の見守り等本当に助かります。	こんな状況こそ地域の力の必要性を感じます。学校と地域が一体となって子どもたちのために進んでいきましょう。
	8	震災のときには、先生方も大変な中、細やかな連絡や通学路の安全確認を行ってくださりありがとうございます。	本校の全児童、全ご家族のみなさんの無事が確認でき、本当に安心しました。
	9	震災後、授業だけでなく、安全面や子どもたちのメンタルケア等、先生方も大変な中で本当にありがとうございます。	東日本大震災を経験された臨床心理士の方の研修を教職員で受けました。子どもたちにとって普通に学習をしたり学校生活を送ったりすることが一番の心のケアになると知りました。定期的な「心と体のアンケート」は取りつつ、日常生活を大事にしています。
	10	大変な災害を経験したからこそ、学校へ通えることや友だちに合えることのありがたさを実感しています。いつもありがとうございます。	日常生活を普通に送ることのありがたさを今回子どもたちも教職員も実感したと思います。この感謝の気持ちを忘れずこれからも学校生活を送っていきます。
地震以外の教育活動に関して	11	宿題が少ないように思います。	同じ学年の児童でも取組状況や理解度、環境等によってかかる時間は異なります。少ないと思われる場合は、市販のドリルなどを購入されてもよいかと思えます。
	12	1年生の時は、子どもたちの「自らあいさつ」があまりなく、少しさみしく思いましたが、久しぶりに会った子どもたちが「大きい声で自らあいさつ」してくれてすごく気持ちよくなりました。子どもたちの成長を感じました。	「自分からあいさつのできる、あいさつの最上級レベルをめざそう！」と呼びかけ、ポスターを貼って、挨拶の大切さを伝えていきます。3学期の縦割り挨拶がなくなったことや寒さ等もあり、少し挨拶の声が小さくなっていますので、また呼びかけていきたいと思えます。
	13	あいさつをしてくれない子がいます。学校ではできていても外でできない子が多いように思います。	あいさつはコミュニケーションの第一歩であり、学校でも社会へ出て必要だと思います。あいさつが習慣化できるよう学校と家庭、共に声を掛けていきましょう。
	14	PTAの役員を決めるのに毎年もめています。役員は本当に必要なのでしょうか。	お忙しい中、お引き受けいただいた役員の方々ありがとうございます。保護者同士の結びつきの一つがPTAでもあり、学校活動を手助けするためにご尽力いただいています。なるべく大きな負担がかからないよう簡略化できるところはしていきたいと思えます。
	15	先生によって厳しい指導があると聞いています。子どものことを思って厳しい対応をとられているのであれば嬉しく思いますが、そうでなければ残念です。	学校は、児童がよりよく社会に出ていくことができるように学習面だけでなく行動面も指導する場所です。児童の中によくない言動が見られる場合は、厳しく指導する場面もあります。ただし、体罰や行き過ぎた指導は児童の心に負の感情を残すことになりしますので、教師として戒めなければいけません。気になることがありましたら、お知らせください。
	16	特別支援学級に、当該学年の案内が届いていないことがありました。行事の際、必要な持ち物を持って行けないことがありました。	今後は、失念することなくおたよりを配付するようにいたします。すみませんでした。
	17	電話で聞かないとわからないことがあります。	説明不足ですみませんでした。わかりやすい連絡に努めます。
	18	大変熱心な教育活動に助けられています。なかなか協力できず心苦しく思っていますが、今後ともよろしく願っています。	保護者の方々の温かいお言葉、私たちの励みになっております。今後とも保護者の方々のご理解、ご協力をよろしく願っています。